

陳 情 書

【1】陳情要旨

狛江市民から、市制定の「情報公開条例」や「個人情報保護条例」に基づく情報公開請求がなされた場合は、市民からの「相談」や「クレーム処理」に対応可能な「一元的」受付部署及び相談窓口を設ける事を陳情する。

【2】陳情内容

私は、私が応募した「ごみ審・選考会（第10期）」（H7.12.25実施）の選考結果について、納得が出来ない回答が多々あり（⇒明らかに私が望む回答と異なる回答が届いたなど）、狛江市が制定した「情報公開条例」や「個人情報保護条例」を用いて、多くの情報開示請求をした。

しかしながら、この情報開示の結果について、当件の責任者（X氏）に、いくら質問&問い合わせをしても、全く取り合ってもらえず、例えば ①持参した「情報公開請求書」の受領が拒否される。それどころか、持参した当該「請求書」が、同人の手によって、粗雑に、私の自転車の前籠に投げ返される（ビン缶センター：H28.12.7 16時30分）や ②呼びもしないのに、勝手にビン缶Cの窓口に現れ、私に対して大声で怒鳴り、恫喝し～【録音あり】～最後は、「業務妨害だ！帰れ！帰れ！警察を呼ぶ！」と怒鳴られ ③8年間で、ただ一度、まっとうな話し合いの機会を得た「会談の場」（ビン缶センター：2Fロビー）では、打合せの最中に突然「電気を切られる」など、私は同人から、何度も陰湿な【パワハラ】を受け、私は、同人から今日まで何も、得るものがなかった。（私の疑問は、今も、何も解決していない。）

そのため私は、これ以上、同人と話し合っても「問題の解決にはならない」とあきらめ、事後策として私は、X氏の直属の上司（氏名不詳）や、狛江市役所の関係部署の幹部職員（氏名不詳）に、『X氏の口から直接、私の疑問・質問に答えて欲しい』旨、「会談の場の設定」を求めたが、私が協力を願った管理者は、皆、異口同音にX氏と「直接話をして下さい」の一点張り、とどのつまりは「裁判を起こせ！」とまで言われ、今日まで、当該行政事件の解決の糸口は、見つからなかった。

私の質問に、いつも「暴力で応える」同人（X氏）には、【相談などできるはずはなく】、また、直属の上司を含む狛江市役所の関係部署の幹部職員にも、私の相談にのってくれる職員はおらず、現行の狛江市役所の「組

組織体制」では、今後、狛江市役所との間で「トラブル」が生じて、狛江市民は、解決策が見つからず、泣く泣く「あきらめる」しか道はなくなってしまう。

ついては、今後は、私のような「不合理」「理不尽」な経験が繰り返されない様に、狛江市役所には、市民⇄市役所間の「トラブル」を一元的に処理・解決ができる「組織」「体制」を作るように、本日「陳情」する。

以上